

子どもにやさしいまちづくりを子ども参加で

■インクルーシブ教育とは「誰一人取り残さない、すべての人にやさしいまちづくり」を教育の場で実践する事と考えるが、市の目指すインクルーシブ教育とは？**教育長**障がいの有無に関わらず同じ場で共に学ぶことを追求する重要性を示しつつ、一方で個別の教育的ニーズに的確に応える必要性も重視している**岩永**大事な視点。子どもにはそれぞれ必要な支援があると捉え「**特別支援から個別支援へ**」という考え方に転換していけないか。その上で、特別支援学級の子どもが地域の学校に通えるように、**全小中学校に特別支援学級の設置を教育長**在籍人数の推移を注視しながら状況に応じて適切な対応をはかる

■子どもの発達支援**岩永**つくしんぼから教育相談室への移行後の不安や、中学卒業後に相談が途切れてしまう等の声を聞く。**子育て・福祉・教育が一体となり0～18歳までの切れ目のない発達支援体制**と庁内組織のあり方を検討すべき**岩永**昨年からは健康部・福祉部・子ども家庭部の相談支援総合調整会議に学校指導課も参加。まずは連携の強化に努める**子ども食堂・フードパントリー****岩永**社会福祉協議会のフードドライブの実施状況は？**岩永**市民や企業からの食品の寄附を昨年度は約40回、今年度は11月までに20回配布。12月にコロナ禍でお困りの世帯へ食料を配布する際に困り事もお聞きし、必要な支援やサ

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)
岩永 康代



ービスも案内する**岩永**子ども食堂や食料を配布するフードパントリーをやりたいという声も多いが、都の補助金申請には市の取組と窓口が必要。防災備蓄食料の入替品の活用を含め、市の関わりと、商工会や農業者など食料提供者と地域の居場所や拠点をつなぐ、支援ネットワークづくりを**岩永**関係機関や団体等と情報共有し必要な対応を考えていく◆SDGsにも深く関わる「子どもにやさしいまちづくり」を子ども参加で進める事、公民館のフリースペースの拡充と中高生が学習できる**岩永**自習室の設置等を求めた。

ヤングケアラー・ダブルケアラーの理解を！

■ヤングケアラー・ダブルケアラーについて、市の実態を伺う**岩永**相談機関、地域包括支援センター、子ども家庭支援センター等で対応事例がある。周囲や本人も気づいていないことが課題。市報に掲載**岩永**ケアラー自身がその人らしく生きるための支援が必要。健康状態や心理的な負担、学業や仕事、家族間の悩み、孤立感など、具体的な**岩永**アセスメントを求める。また、ケアラー自身のための**岩永**相談窓口の設置も検討を。**岩永**ケアラーの状況や背景は様々。さらに丁寧にみていく必要がある。個々の相談事例から見える課題を整理し、どのような体制が必要か検討していく■**岩永**介護人材の確保のため**岩永**受講しやす

い**岩永**介護職員初任者研修の実施を**岩永**都が今年度から介護職員資格取得支援事業を開始し市内2カ所で実施。周知していく**岩永**受講者に市内で働いていただく工夫を！**岩永**何ができるか検討する**岩永**相談支援専門員は増えているが利用者も増えている。人数だけでは見えない課題も丁寧に把握し対応を**岩永**相談事業所が全体で協力し利用者を受け入れる体制づくりなど協議している。相談支援専門員の負担軽減、定着を図っていく。■**岩永**温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた見解を**岩永**徹底した省エネと必要なエネルギーを100%再生可能エネルギーとする創エネが必要。脱炭素にむけた取組み、政策

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)
高瀬 かおる



の検討、その見通しを立てていく**岩永**化石燃料や原発に依存せず、再生可能エネルギーをより活用するために、企業の取組みや国や都の補助金にもアンテナをはって進める必要がある。**岩永**新しい技術、活用できるものもしっかり確認しながら進める**岩永**国が2022年度からの**岩永**プラスチックごみ一括回収を検討中。市民の分別意識に逆行し、市の作業負担も大きくなると懸念する**岩永**今年度内に整備案が示される予定。動向を注視し、収集方法やリサイクルセンター整備にむけた様々な課題を整理していく。

延期となった市内のオリ・パラ聖火リレー

尾澤：延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の市内聖火リレーについて市が把握していることを教えてください。
答弁：オリンピック聖火リレーが来年7月13日(火)、パラリンピック聖火リレーが8月22日(日)に開催されると組織委員会から発表されている。また、オリンピック聖火リレーのルートは、ひかりプラザを出発し、新庁舎建設予定地の泉町有地をゴールとするコースを予定していたが、大会自体が延期となり、全国的に聖火リレーコースを再検討することになった。コースが変わらない自治体も含めて来年のコースは未発表という状況。パラリンピック聖火リレ

ーについても、公表される前に大会延期が決定され、未定となっている状況。今後、組織委員会から情報が出たら市報等で広報していく。
尾澤：聖火リレーに合わせて開催予定だったイベントについても教えてください。
答弁：オリンピック聖火リレーは、ゴール地点である泉町有地でミニセレブレーションを東京都聖火リレー実行委員会が主催して実施予定、最終ランナーの到着を祝うプログラムが中心の予定となっている。また、パラリンピック聖火リレーについてはリレールートも含めまだ公表されていないため、現時点ではセレモニーの実施等は未定である。

自由民主党市議団
尾澤 しゅう



尾澤：コロナ禍であることも想定されるが、対策と配慮を行い、できる限り多くの児童・生徒を含めた市民と共に、この国民的イベントに参加出来るように進めていただきたい。
答弁：オリンピック・パラリンピック共に聖火リレー実施に当たって多くの市民ボランティアの力を借りなければならない。来年年明けには募集開始したい。今後の感染状況を確認していく必要はあるが、児童・生徒も参観できるような状況となった場合には感染対策を徹底しながら、どの様に関われるか十分に検討していく。

安心・安全のまちづくり

1. 公衆衛生について

尾澤) 私がH28年予防接種の接種率向上のため予防接種アプリの開設を求めた。その後モバイルサービス「予防接種・子育て応援ナビぶんぶんロケット」を開設。その際に公衆衛生の意識向上も含めて広めるよう要望。コロナ禍において、意識が広まり、それ以外の感染症が減少しているようだが現状はどうか？**岩永**主な感染症の発生動向として立川保健所の週報では昨年同時期でインフルエンザ約6,300件→約1,400件。感染症胃腸炎は約2,600件→約1,400件。手足口病約1,600件→29件など減少している。**岩永**この10月の予防接種法改正の対応と「ぶんぶん

ロケット」の現状について伺う。**岩永**予防接種の間隔が変り医師会と対応。それに伴いぶんぶんロケットのアクセス数が急増した。**岩永**更なる工夫で周知しアクセス数の増加を求める。
2. 令和2年度総合防災訓練について
尾澤) コロナ禍の為オンライン訓練となった。評価を伺う。**岩永**訓練のチラシとホームページを連動。オンライン訓練用の動画配信など行い評価をいただいた。**岩永**感染症対策による訓練で体育館に避難できる人数の大幅な減少や要援護者トリアージへの対応が伝わったと感じる。今後の避難所運営のプロトタイプ作成と市内各所の避難所へのシミュレーションの形成を求め

自由民主党市議団
尾作 義明



る。またオンラインによる在宅避難者のコミュニティ形成のためのアプリケーション作成を市と事業者と共同開発を行うことを求めた。
3. コロナ禍での経済対策について
尾澤) 市内事業者の経営状況に非常な厳しさを感じる。市としての更なる対策を早急に求める。**岩永**市長) 市としても至急検討している。市民の方々への生活支援、営業支援、経営支援となんとしても手を打っていきたい。できる限り多くの人に行き渡る施策をしっかりと実施したい。
4. 無電柱化について 都と連携し推進を求めた。